

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

2021 年度定時社員総会次第

日時：2021 年 5 月 28 日（金）13:30～16:00

開催方法：インターネットを介した会議方式（オンライン会議）

開会

1. 会長あいさつ

2. 来賓あいさつ

きょうされん

理事長 齋藤 なを子 様

全国民間保育園経営研究懇話会 事務局長 森山 幸朗 様

全日本民主医療機関連合会 事務局次長 林 泰則 様

3. 議長選出

4. 議事録署名人確認

5. 議事

第1号議案 2020 年度事業報告

第2号議案 2020 年度決算報告

監事監査報告

第3号議案 2021 年度事業計画

第4号議案 2021 年度予算

報告と提案 役員紹介

声明「2021 年夏の東京オリンピック・パラリンピックを中止し、市民のいのちと暮らしを守る新型コロナ対策の拡充を求めます！」

質疑応答

討論

会長より討論のまとめ

採決

6. 議長解任

閉会



社員総会開催にお祝いメッセージをいただきました。ありがとうございます。

🌸 社会福祉法人経営全国会議定時総会の開催おめでとうございます。

法人の経営を守り、権利としての社会福祉を守り実現していくことを目的とし、全国の社会福祉法人に広く呼び掛け、分野業種を超え連携する「社会福祉経営全国会議」を立ち上げ、この一年、私たちの活動を励まし確実に発展していることに敬意を表します。

かつて経験したことのない新型コロナウイルス感染は、「医療崩壊」「介護・福祉崩壊」が危惧される事態となっています。

私たちは、コロナ禍においても、職員と利用者の感染リスクの中、社会に必要不可欠な社会福祉施設として、事業を継続し、利用者・家族のくらしと権利を守り、地域の福祉を守り、経営を守ってきています。

今総会が参加者の皆さんの英知を結集して、実り多い成果を上げられることを祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2021年5月28日

愛知県民間社会福祉施設経営管理者会議

会長 石井一由記

🌸 一般社団法人社会福祉法人経営全国経営の総会開催に至りお祝いを申し上げます。

昨年4月に一般社団法人社会福祉経営全国会議が設立し、コロナ禍の厳しい情勢のなか権利としての社会福祉をまもり実現するため種別分野をこえた社会福祉法人の組織と連携に勇往邁進されたことに敬意を表します。

国はコロナ対策をはじめ地域の切実な福祉課題の解決の責任を放棄するとともに、その担い手を社会福祉法人に負わせようとし、また社会福祉法人改革も着実にすすめられています。

このようななか、権利としての社会福祉を守り実現させることが極めて重要であり時代の要請であります。今総会が全国の社会福祉法人経営に携わるみなさんの深くすぐれた知恵により結束を強め組織を発展させることを祈念し連帯のご挨拶とさせていただきます。

2021年5月28日

社会福祉施設経営者同友会 会長 茨木範宏

🌸 社会福祉経営全国会議の定時社員総会の開催、おめでとうございます。

結成当初から新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、会の運営について大変なご苦労があったことと存じます。しかし、この情勢の中でこそ、貴会の存在意義が浮き彫りになったと確信しております。私たちの経営する老人福祉施設は、老人福祉法に規定され生まれましたが、その運用は介護保険制度に依拠しています。21・老福連は、豊かな援助実践と公的福祉の確立を求め、貴会とともに、権利としての社会福祉を実現する立場で奮闘することをお誓いし、連帯のメッセージといたします。

2021年5月28日

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

代表幹事 常陸 実

🌸 一般社団法人社会福祉経営全国会議の結成1年を迎えての総会、おめでとうございます。日本障害者センターを代表して連帯のメッセージを送ります。

日本障害者センター社会福祉事業の在り方検討会は、障害分野だけではなくすべての社会福祉分野で権利としての福祉保障という視点から社会福祉事業の在り方を考える必要があると提起してきました。そして貴全国会議は、権利としての社会福祉を実現する社会福祉事業経営の確立を、社会福祉の分野を超えた、階層を超えた連帯・共同を創り出す方向でめざしていこうと力強く胎動を始めました。日本障害者センターにとっても頼もしい限りです、ともに発展を目指していきましょう。

今年は国政選挙の年です。コロナ禍にあって、それと向かい合いつつ次を描くという社会福祉の基本方向が政治で問われる年です。互いに大きく輪を広げ飛躍の年にしていきましょう。

日本障害者センター理事長 峰島厚

🌸 社会福祉経営全国会議設立1年目の社員総会の開催にあたり連帯のメッセージを送ります。

全国会議に結集された、社会福祉法人におかれましては、コロナ禍のもとで利用者・国民の権利としての社会福祉を守るために、法人職員一丸となって奮闘をされてきたことに、心より敬意を表します。今の自公政権や大阪の維新の府市行政は、国民の健康で文化的な生活をまもることに一義的責任がある社会福祉を福祉のIT産業をはじめとする経済市場とすることを優先させ、利用者・国民の期待から大きくそれていく方向に突き進んでいます。また、現政権の昨年来のコロナ禍での対応や東京オリンピック開催に固執してきた経緯、原水爆禁止条約批准に背を向ける姿勢は、私たちの安全・安心を軽視し、日本に対する国際的な信用をおとしめ続けています。

多くの利用者・市民とともに社会福祉の第一線から、このような方向をただし、権利としての社会福祉の確立をめざす潮流を大きくしていくことは益々緊急性を帯びた課題となっています。社会福祉経営全国会議が一層大きな組織に発展していくことは、社会福祉の権利を守る確かな拠り所を作ることにつながるかと確信します。全国会議の今後益々の発展を祈念し、私ども総合社会福祉研究所も協力共同で研究運動を推進する決意を表明して、連帯の挨拶とさせていただきます。

総合社会福祉研究所理事長 石倉康次

🌸 2021年度定時社員総会の開催おめでとうございます。

昨年4月、コロナ感染症の拡大により、社会福祉事業の脆弱さが露わになりました。背景にある新自由主義や福祉の市場化・営利化を放置しておけば、いっそう社会福祉は危機に陥るとの認識が広がりました。

こうした情勢を真正面から受けとめ「権利をまもるゆたかな社会福祉実践と、誰もが安心して利用できる社会福祉事業の確立」をめざし、貴組織は結成されました。

活動方針にある「人権保障としての社会福祉労働を追求し、福祉で働く者の専門職としての資質を高め、それにふさわしい身分保障の確立をめざします」との言葉に、私たち福祉労働者は大変勇気づけられました。

感染症の終息が見通せない中、活動に困難がともないますが、それを打ち破り、強く大きな組織に発展されることを心より祈念いたします。

全国福祉保育労働組合 中央執行委員長 土田昭一

🌸 一般社団法人 社会福祉経営全国会議2021年度定時社員総会の開催、おめでとうございます。また、日頃より私ども障全協の運動に対し、心温まるご支援ご協力に深く感謝します。

さて、私たちは今、新型コロナウイルス感染という過去経験したことのない危機に立たされています。政府の感染対策の遅れ・不十分さに多くの国民が怒り、不安を募らせています。感染リスクの高い障害者・患者とその家族は「医療崩壊」「介護・福祉崩壊」が危惧されている中で、一日も早い収束を願っています。

安倍政権を引き継ぐ菅政権が誕生して半年以上が経過しました。感染防止より経済を優先させる菅政権に国民のいのちと暮らしを守る姿勢は見い出せず、引き続きの私たちの運動が求められています。

また、「自助・共助・公助、そして絆（互助）」を強調する菅政権は、全世代型社会保障改革に基づき、国政のあらゆる分野で公的責任を後退、あるいは放棄する動きを強めており、年金・医療、介護・福祉など制度改悪を許さない運動もさらにすすめていかなければなりません。

さらに、平和と民主主義への攻撃、憲法改悪の危険な策動を強めようとしており、これまで以上に憲法を守り活かす運動も重要になっています。

私たち障全協は、みなさんとともに積極的に運動を展開し、諸権利の確立、諸課題の達成をめざして奮闘する決意です。今総会が貴団体にとって、多くの国民の期待に応える組織・運動を前進させるための新たな出発点になることを心から期待します。共にがんばりましょう。

2021年5月28日

障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会



声明

2021年夏の東京オリンピック・パラリンピックを中止し、 市民のいのちと暮らしを守る新型コロナ対策の拡充を求めます！

2021年5月28日

一般社団法人 社会福祉経営全国会議

新型コロナウイルス感染症は、全国にこれまでにない勢いで広がり、変異株による感染者の重症化、入院期間の長期化などの影響もあり、医療のひっ迫、一部崩壊をまねいています。この影響で、介護・福祉の現場では、ほんらい医療機関のもと適切な治療を受けるべき感染者の多くが施設に留めおかれたり、在宅療養を余儀なくされる問題が生じています。また、在宅療養を担わざるをえない家族への家庭内感染が拡大し、深刻な状況となっています。

介護・福祉職員や保育士等は、日常的に濃密な接触が必要であるだけでなく、深刻な職員不足から過酷な労働環境の下で働き、そこにコロナ対策や感染者等への看護が求められています。福祉職員は、新型コロナウイルスへの恐怖と向きあいながら、希望しても入院できない陽性者を施設で亡くならせなくてはならないと、看病・支援に奮闘しています。会員法人で集団感染が発生した施設では、「あの部屋に行くとコロナが見える」と身体的・精神的に追い詰められながらも、「感染した入所者のいのちと暮らしを守らなくては」と職務をまっとうする職員の姿が報告されています。

しかし、こうした問題を是正するための医療体制・病床の拡充、医師や看護師の確保、PCR検査の拡大等は遅々として進んでいません。第三波、第四波の感染拡大により、高齢者や障害者は人工呼吸器など延命治療をしない条件を承諾しなければ入院できない「いのちの選別」という事態まで起きているのが現状です。

先日、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が、日本看護協会に対して大会期間中の医療スタッフとして看護師500人の確保を要請する文書を送った旨の報道がありました。さらに組織委員会は、大会を安全に開催するために、期間中の医療スタッフは約1万人必要と想定しているとされています。

オリンピック・パラリンピックは、努力を積み重ねてきたアスリートのみならず、観る者に勇気と感動を与えるスポーツの最高峰であり、「平和の祭典」です。多くの国民が安心・安全のなかでこの祭典を楽しみ・喜びあいたいと望んでいます。しかし、「いのちの選別」が現実化し、ワクチン接種の遅れも指摘されている中であって、医療スタッフが大会に割かれれば、さらなる医療崩壊が生じ、これまで以上に市民のいのちと暮らしが危険にさらされることとなります。

国内のみならず世界的にも「中止・延期」の声が広がっています。国は、真の意味で「平和の祭典」が可能となる時期を見誤ることなく、今夏のオリンピック・パラリンピック中止の判断を早急にするべきです。そして政府、東京都、全国の自治体が、市民の声を真摯に受け止め、コロナ感染症収束に向けた対策に集中し、市民のいのちと暮らしを守るため、エビデンスに基づいた計画性と実効性のある施策を講ずることを強く求めます。

第1回全国福祉経営研究交流会のご案内

憲法を抛り所にだれ一人をも取り残さない 社会福祉制度を築こう！

—コロナ禍から見えてきた公的保障の問題と課題—

私たちが直面しているコロナ禍の中で見えてきた社会のあり方と社会保障の問題点を浮き彫りにし、現状を切り開くために何をすべきかを全国の仲間と学び交流しませんか？

明日の福祉経営を担うみなさんの参加をお待ちしています。

「全国福祉経営研究交流会」は、東海と近畿地域で30年続けてきた東海・近畿経営研究集会の歴史・目的を受け継ぎ、全国に範囲を広げた集会です。記念すべき1回目となりますので、是非ご参加下さい。

- と き 2021年12月9日(木)～10日(金)
- ところ シーサイドホテル舞子ビラ神戸(神戸市垂水区東舞子町18-11)
- リモートと併用で開催
- 参加費 11,000円
- 日 程

12/9 (木)		12:00～ 受付	13:00～15:30 基調提案 基調シンポジウム	15:30～17:00 基調講演	
12/10 (金)	9:00～12:30 分科会		休憩	13:30～15:00 記念講演	15:10～15:20 閉会集会

- オープニング クラウンパフォーマンス(土曜日の天使達:かがやき神戸)
- シンポジウム 高齢、障害、児童の三分野よりコロナ禍で見えてきた現状と課題
- 基調講演 「だれ一人をも取り残さない社会保障制度とは？」
～社会福祉法人の経営・運営をかんがえる～ 岡崎祐司氏(佛教大学教授)
- 分科会

第1 分科会	社会福祉事業入門講座	第4 分科会	コロナ対策や自然災害、それらの経験の中 から見えてきた福祉施設の課題
第2 分科会	「社会福祉法人改革」と経営課題	第5 分科会	誰一人をも取り残さない福祉実践と経営課題
第3 分科会	職員の確保・育成と定着	第6 分科会	社会福祉法人の経営機能のあり方を考える

- 記念講演 「コロナ禍で見えてきた経済構造と私たちがめざす社会」(仮称)
二宮厚美氏(神戸大学名誉教授)

主催：全国福祉経営研究交流会実行委員会

実行委員会事務局：〒675-0033 兵庫県加古川市加古川町南備後 321-1-108 (社会福祉法人はとのさと福祉会 内)

TEL 079-497-7234 Fax 079-497-7236